

# 2015 年度事業計画（案）

## I. 総務会

### 1. 委員会の開催予定

第 1 回 2015 年 4 月 10 日

以降、2015 年度理事会の議題調整等を主な目的として、理事会の開催に合わせ、概ね 2 か月に 1 回程度開催する。

### 2. 事業計画と年間目標

- 1) 2013 年度～2015 年度重点事業目標を進める。
- 2) 第 87 回（2016 年度）総会の開催を準備する。
- 3) 会員の権利と義務を再度見直し、入会を募ると共に、多くの会員が事業に参画できるようにする。
- 4) 協会活動の合理化に向けて、委員会業務の精査と委員長会議を開催する。Web 会議開催の設備につき検討する。
- 5) 議事要録や委員会資料等の記録管理（ファイルサーバの導入）につき検討する。
- 6) 奨学基金運用に明確な方針を立てる。
- 7) 地区会事務局連絡会議を開催する。
- 8) 分担保存につき明確な方針を立てる。
- 9) 日本薬学図書館協議会等、関係団体との事業及び組織連携を進める。
- 10) 事務局業務の精査と合理化を図る。
- 11) その他、理事会及び各委員会活動に関する検討、意見調整を行う。

### 3. 事業別計画

#### 1) 医書電子化検討ワーキンググループ

##### (1) 委員会の開催予定

第 1 回 6 月 26 日 日本医書出版協会(JMPA)との意見交換

第 2 回 9 月 JMPA との意見交換

第 3 回 12 月 JMPA との意見交換

第 4 回 3 月 JMPA との意見交換

※ワーキンググループメンバー間の打ち合わせは、普段はメールで行い、JMPA との意見交換があった際は、その前後の時間を使っている。

##### (2) 事業計画と年間目標

###### ①JMPA との国内医書電子化に関する意見交換

医療従事者、研究者、医学生など、医書利用者にとって実用性のある電子化モデルが実現されるよう、JMLA と JMPA との間で意見交換を行う。

###### ②JMLA 会員内での国内医書利用実態調査の実施

国内医書電子化の検討や JMPA との意見交換のための情報源として、JMLA 会員内の実際の国内医書利用状況調査を行う。結果は JMLA 会員向けに公開する。

##### (3) JMPA から要請されている JMLA 会員向けアンケートについて検討する。

### 4. その他

担当委員会のあるものは、当該委員会の事業計画（案）を参照のこと。

## Ⅱ. 企画・調査

### 1. 委員会の開催予定

- 第1回 7月 年間事業の策定と具体的実施内容の調整
- 第2回 11月 年間事業の進捗状況の確認と修正・各種審議
- 第3回 3月 事業のまとめと改善事項の検討

### 2. 事業計画と年間目標

#### 1) 第86次会員統計

- (1) 6月 データ提出依頼
- (2) 9月 完成版の協会ホームページへの掲載

#### 2) 第66回(2015年度)重複雑誌交換事業

- (1) 4月 第65回(2014年度)についてのアンケート調査
- (2) 5月 専用メーリングリストの修正・追加受付
- (3) 6月 事業開始の広報
- (4) 6-2月 交換期間
- (5) 3月 実績報告書提出

#### 3) 「要覧2015」の発行

- (1) 4-7月 原稿提出依頼
- (2) 9月発行

#### 4) その他

- (1) 重複雑誌交換事業について  
新手順について会員の意見を徴取し、今年度の事業に反映させる。
- (2) 要覧について  
編集に際し、統一記述方法を探る。

## Ⅲ. 機関誌「医学図書館」編集

### 1. 委員会の開催予定

- 第1回 2015年6月 各号の進捗状況と次号の検討
- 第2回 2015年9月 同上
- 第3回 2015年12月 同上
- 第4回 2016年3月 同上

### 2. 事業計画と年間目標

- 1) 「医学図書館」(年4号)の刊行
- 2) 編集体制の改善
- 3) 本誌電子化についての検討

## Ⅳ. 出版

### 1. 委員会の開催予定

- 第1回 2015年6月 書籍の出版準備及び今後の企画、「相互利用便覧」Web版のデ

		一タ確認
第2回	2015年9月	書籍の出版準備及び今後の企画
第3回	2015年12月	書籍の出版準備及び今後の企画
第4回	2016年3月	書籍の出版準備及び今後の企画

## 2. 事業計画と年間目標

### 1) 書籍の出版など

- ①「やってみよう図書館での医療・健康情報サービス」改訂版の出版
- ②新「米国国立医学図書館分類法（NLMC）日本語版」出版の準備
- ③「わかりやすい医中誌 Web 検索ガイド 検索事例付」の増刷あるいは改訂の検討
- ④「図解 PubMed の使い方 インターネットで医学文献を探す」の増刷あるいは改訂の検討

### 2) 「相互利用便覧」Web 版のデータ確認

### 3) 新出版物の企画

- ①一般市民を対象とした健康情報検索ガイドの企画

## V. 広報

### 1. 委員会の開催予定

第1回	2015年4月	本会パンフレットの作成
第2回	2015年9月	広報活動の企画
第3回	2016年1月	広報活動の企画
第1回	ホームページ担当ワーキンググループ委員会	2015年11月

### 2. 事業計画と年間目標

- 1) 本会の諸活動に関する会員間の意見交換、会員外への宣伝活動の促進
- 2) 本会案内パンフレットの更新
- 3) 本会ホームページの管理

## VI. 雑誌

### 1. 委員会の開催予定

第1回	6月	コンソーシアム交渉進捗確認
第2回	8月	JMLA/JPLA コンソーシアム説明会準備
第3回	1月	交渉、説明会の反省と次年度交渉、説明会スケジュール立案

### 2. 事業計画と年間目標

#### 1) コンソーシアム提案交渉

日本薬学図書館協議会(JPLA)雑誌問題検討委員会と合同で、出版元・代理店と2016年契約に向けたコンソーシアム提案の交渉を行う。交渉を集中的に行えるよう、日程調整を委員会主導で行う。

#### 2) コンソーシアム提案の充実

病院向け提案、日本語資料の提案、保健医療領域に特化したコンソーシアム提案の充実を図る。

### 3) JMLA/JPLA コンソーシアム説明会の開催

JPLA 雑誌問題検討委員会と合同で、JMLA/JPLA コンソーシアム説明会を京都（2015年8月27日）と東京（2015年9月2日）とで開催する。

### 4) コンソーシアム交渉の負担軽減

コンソーシアム交渉の負担を軽減できるよう、スケジュールなどを工夫する。

### 5) 他コンソーシアムとの連携

他コンソーシアムの動向を注視するとともに、必要に応じて、情報交換や協力活動を図る。とくに韓国医学図書館協議会とは引き続き情報交換をすすめる。

### 6) 総会オープンフォーラムでの発表

2015年5月28日の総会オープンフォーラムで、雑誌委員会の活動を紹介する。

### 7) 分担購入の見直し

分担購入の中止について、2015年度総会で提案する。

### 8) 病院向けコンソーシアム提案について病院部会との連携強化

コンソーシアム提案について、病院部会との間で意見交換会を開催する。病院部会のコンソーシアム担当者に都合のつく範囲で、病院向けコンソーシアム提案の交渉に参加してもらう。

## Ⅶ. 教育・研究

### 1. 委員会の開催予定

第1回 7月 年間計画と業務分担、図書館総合展フォーラム企画、コア研修および学術集会のWG組織準備

第2回 9月 基礎研修会事後レポート審査、MLA派遣者募集規程

第3回 12月 助成申請審査、第1回コア研修および学術集会進捗確認

第4回 2月 MLA年次大会派遣研修者申請審査、MLA I-VIP公募の準備

### 2. 事業計画と年間目標

1) 第22回医学図書館員基礎研修会（関東地区）

2) 第22回医学図書館研究会・継続教育コース（近畿地区）

3) 第17回図書館総合展フォーラム（JMLA/JPLA共催）

4) 助成募集

・研究助成

・海外研修助成

5) MLA2016年次大会派遣研修者募集

6) MLA年次大会派遣研修者募集規程の作成

7) 基礎研修会事後レポート審査

8) 第1回JMLAコア研修準備

9) 第1回JMLA学術集会準備

10) 2016年度JMLA-CE（継続教育コース）の企画

（8、9、10：下記、概要を参照）

11) MLAの交換留学プログラム International Visiting Health Information Professionals Program (I-VIP)派遣者公募の検討

12) 研究助成費及び海外研修助成費給付規程の見直し

## 専門職能力開発プログラムへの移行に伴う3種類の研修機会の概要

	JMLA コア研修	研究会	JMLA-CE
2016 年度	8 月（関東） 独立開催 【第 1 回 JMLA コア研修】 コア研修 WG	5/27（金）（和歌山） 総会 5/26 の翌日 【第 1 回学術集会】（研究発表+CE） 教育・研究 2 名+総会実行委員会	
2017 年度 以降	8 月（関東） 独立開催 【第 2 回 JMLA コア研修】 コア研修 WG	秋～冬（関東） 独立開催 【第 2 回学術集会】（研究発表+CE） 学術集会 WG/JMLA-CE 担当	
			5 月（場所未定） 分科会 総会実行委員会
			地区会研修会 地区会
			その他の会員主催 研修会
			<< 登録制 >> JMLA-CE 担当

### コア研修

- ・ 2016 年度 8 月に第 1 回 JMLA コア研修を独立開催し、2017 年度以降も継続する。
- ・ 企画・運営は JMLA コア研修ワーキンググループ（コア研修 WG）があたり、会計や参加にかかわる事務手続きは JMLA 中央事務局が担当する。
- ・ 同 WG メンバは教育・研究委員会からの 2 名と公募した 2 名の計 4 名とする。
- ・ 同 WG メンバの任期は役員と同様 2 年とする（初年度 2015 年 9 月募集予定の任期は別途検討）。
- ・ シラバスは作成済みで専門職能力開発プログラム最終報告書（2014 年 3 月）に掲載あり。講師候補はシラバス開発会議のメンバ、再度具体的になってから打診する。
- ・ 会場は関東、講師ともに当面は固定で運営。WG でノウハウを蓄積したところで、別の場所での開催、別の講師への依頼を検討する。

### 研究会

- ・ 2016 年度は 5 月の総会と連続開催の日程で、研究発表と JMLA-CE を合わせた第 1 回学術集会を開催する。この日程は従来の研究会に参加しない管理職や図書館長の参加も見込んだためである。なお、従来の分科会は行わない。
- ・ 第 1 回学術集会は教育・研究委員会からの 2 名が企画・運営にあたり、総会実行委員会に会場手配等は吸収してもらう。
- ・ 2017 年度以降は、秋から冬にかけて「学術集会」を独立開催する。これは、春以外にも研修機会があった方がよいこと、若手中心の集会があってもよいこと、JMLA-CE をどこかで実施する必要があるからである。また、総会の分科会はそれなりに集客があったことから復活させたい意図もある。
- ・ 学術集会の企画・運営は学術集会ワーキンググループがあたり、会計や参加にかかわ

る事務手続きは JMLA 中央事務局が担当する。

- ・ 同 WG メンバは教育・研究委員会からの 2 名と公募した 2 名の計 4 名とする。
- ・ 同 WG メンバの任期は役員と同様 2 年とする（初年度 2016 年 9 月募集予定の任期は別途検討）。
- ・ 学術集会の会場は当面は関東とする。WG でノウハウを蓄積したところで、別の場所での開催を検討する。

## JMLA-CE

- ・ 学術集会の中で開催するもの、既存の JMLA 会員の企画・運営による研修機会（分科会、図書館総合展フォーラム、文献検索講習会、医療・健康情報研修、地区会による研修会）を事前登録制とし、『JMLA-CE』のクレジットをつけたもので体系づけていく。
- ・ 事前登録した研修機会は『専門職能力開発プログラム最終報告書』に示された分野、領域、モデル活動、レベル等で整理してホームページ上に掲載する。
- ・ 学術集会の中で開催する JMLA-CE の内容は別途検討する。
- ・ 2017 年度以降は、総会では従来の分科会も復活させ、『JMLA-CE』のクレジットをつけて連続日程で開催する。科目については、館長およびシニアの参加者が多い特性から、従来どおり最新動向に照準をあてたものとする。
- ・ 事前登録や体系付けの具体的作業については教育・研究委員会が中心となって、必要な体制を検討し整える。

## Ⅷ. 医療・健康情報

### 1. 委員会の開催予定

- 第 1 回 6 月 第 2 回医療・健康情報サービス研修会、委員会ホームページ、からだところの情報センターホームページ、
- 第 2 回 9 月 講師育成についての具体的方法の検討、『やってみよう...』
- 第 3 回 11 月 第 1 回、第 2 回の継続、委員会紹介パンフレット
- 第 4 回 2 月 第 1 回、第 2 回の継続、2016 年度事業計画検討
- 医療・健康情報ワーキンググループ会議を 2～3 回、からだところの情報センターワーキンググループ会議を 4～5 回開催予定

### 2. 事業計画と年間目標

- 1) 第 2 回医療・健康情報サービス研修会の実施（2015 年 11 月を予定）
- 2) 各地区における講師育成に係る検討
  - (1) 第 2 回医療・健康情報サービス研修会の中で、講義、ワークショップ等を実施
  - (2) 2014 年度に公開した「医療・健康情報サービス研修会の進め方」の普及
  - (3) 講師育成研修プログラムの構築
    - ・ 「医療・健康情報サービス研修会の進め方」を作成し、委員会ホームページで公開する（会員限定）。
    - ・ 過去の研修会で使用したパワーポイントを元に、「医療・健康情報サービス研修会の進め方」に準拠した雛形スライドを作成し、委員会ホームページで公開する（会員限定）。運用については、随時検討を行う。
- 3) 『やってみよう図書館での医療・健康情報サービス』第 3 版の執筆

(出版は 2016 年度を予定)

- 4) 委員会紹介パンフレットの完成
- 5) からだとこころの情報センターホームページ運用方法の検討
- 6) 委員会ホームページ及びからだとこころの情報センターホームページの内容見直し、両ホームページのデザイン統一、公開

## Ⅸ. 認定資格運営

### 1. 委員会の開催予定

第 1 回	6 月	予定内容	年間計画、第 24 回募集準備、新制度対応の検討
第 2 回	8 月	予定内容	第 24 回認定資格審査
第 3 回	11 月	予定内容	第 25 回募集準備、新制度対応の検討
第 4 回	2 月	予定内容	事業報告・計画、第 25 回認定資格審査

### 2. 事業計画と年間目標

#### 1) 申請募集と認定審査

2015 年 7 月の第 24 回申請募集、2016 年 1 月の第 25 回申請募集に合わせ、申請広報を行う。それぞれ、8 月及び 2 月の会合で認定審査を行う。

#### 2) 資料の整備と保存の見直し

認定審査や関連する活動に際して、継続性を踏まえた資料の整備を行い、詳細な審査の記録を残す。また 2014 年 12 月に過去の申請書類の保存方法の見直しを行い、資料の廃棄を行った。今後は継続的に、廃棄を進めていく。

#### 3) 認定資格イメージロゴの制定とプロモーショングッズ

2013 年 12 月に「認定ロゴ・イメージ」のデザインコンペを行って採用作品を決定した。現在は商標登録を進めており、登録後に一般公開して、プロモーショングッズを製作する。申請促進の広報と同様に、資格の社会的認知度向上のためのプロモーショングッズの作成、取得者への配布を行う。またプロモーション用の活用方法を検討する。

#### 4) 申請促進のための情報発信

申請者が申請しやすくなるように、申請書類やサイト掲載の説明を改訂している。取得者の支援のための「JMLA 認定資格スケジュール」や「JMLA 研修時間数一覧」の情報などを適宜改訂していく。また「ポイント表」も、実態に合うわかりやすいポイント設定になるよう、今後も改訂を行う。また各種案内については、管理・更新のしやすさを考えた作業方法を検討する。

#### 5) 業務分掌の確認

認定資格運営委員会と、JMLA 中央事務局との業務分掌の共有を進める。大まかな役割分担とスケジュール管理は確認できており、より具体的な内容について明確にする。

#### 6) 専門職能力開発プログラム実現への協力

第 85 回総会で承認された「専門職能力開発プログラム最終報告書（提案）」に基づき、「ヘルスサイエンス情報専門員認定資格」を整備し、同認定資格制度の事業体制と、申請・審査の具体的な方法を提案し、移行準備を進める。

### 3. その他

- 1) 他の図書館関連団体が認定する資格や検定試験との連携については、具体的な働き掛けがあれば、積極的に対応していく。

## 2017年からの認定資格についてのQ&A

第27回(2017年1月)から「専門職能力開発プログラム」(第85回総会平成26年5月承認)にのっとして改訂された「ヘルスサイエンス情報専門員認定資格規程」(2016年10月1日施行予定)に基づいて認定審査が行われます。この規程における認定資格について、疑問にお答えします。

### Q1 基礎資格を申請する予定です。何が変わりますか？

これまでの基礎資格申請の必須要件であった基礎研修会や研究会+継続コースの修了に代わるものとして、2016年に始まるJMLAコア研修の修了が必須要件となります。また、倫理綱領に対する宣誓の署名が加わります。この2点以外はこれまでと変わりません。

ただし、第27回(2017年1月)から第31回(2019年1月)までの認定審査では、移行措置として、JMLAコア研修を修了していない場合でも、これまでの基礎研修会、または研究会+継続コースを修了していれば、JMLAコア研修に代えて認められます。

### Q2 現在の資格はどうなるのですか？

基礎資格は永年資格ですから、そのまま保持できます。中級、または上級資格をお持ちの方は、資格有効期間内は、そのまま保持できますが、更新する場合には、改訂規程にあるそれぞれの認定要件を満たすことが必要となります。

### Q3 更新、または上位級への申請を予定しています。何が変わりますか

次の点に加わります。

- 1 倫理綱領に対する宣誓署名の提出
- 2 モデル活動に関する申告
- 3 英語レベルの証明書の提出
- 4 専門職団体での活動ポイントの加重

### Q4 倫理綱領に対する宣誓の署名の提出とはどのようなものですか？

申請書類の中にある倫理綱領の書類をご覧ください、倫理綱領に対する宣誓をします。その証として書類に署名をし、他の申請書類とともに提出していただきます。

### Q5 モデル活動に関する申告とはどのようなものですか？

専門職能力開発プログラム最終報告書(提案)資料3<sup>※</sup>)に提示されている活動について、活動実績や実践を文章化して申告します。就職活動におけるエントリーシートやハローワークのホームページにある職務履歴書の書き方などが参考にできます。なお、モデル活動の記述に代えて、相当する資格で申告することもできますが、その場合は証明書が必要です(例、ITパスポート資格など)。

※) JMLA 専門職能力開発委員会編. “専門職能力開発プログラム最終報告書(提案).”

日本医学図書館協会. <http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/pro/senmon.pdf>(参照 2015-04-17)

### Q6 ポイント申告とモデル活動に関する申告の違いは何でしょうか

ポイント申告は業績を中心に活動を数値化して申告するもので、モデル活動に関する申告は実績や実践内容を具体的に文章化して申告するものです。

例えば、「研究会で発表した」はポイント表IV「業績 会議(学会・研究会)への参加」に示されたポイントを申告します。また「研究会で発表した」ことは、専門職能力開発プログラム最終報告書(提案)資料3「モデル活動」における「研究開発カテゴリー」の「調査研究」のモデル活動実績ともなります。調査研究の内容や結果、およびどのように発表したかを文章化し、モデル活動の申告書類を作成してください。なお、モデル活動のレベルI(1単位)とII(2単位)は研究の内容、発表集会の違いによります。

このように、ポイント申告とモデル活動に関する申告は、重なる内容を扱う場合もあります。繰り返しますが、モデル活動に関する申告は、その実績や実践を文章化するというところがポイント申告と異なりま



す。

#### Q7 英語レベルの証明とはどのようなものですか

英語の検定試験等を受験して得られるスコアや資格が指定されたレベル以上であることを示す認定証、または資格の証明書を提出していただきます。認定証、または資格の取得時期は問いません。書類はコピーでもかまいません。

#### Q8 英語レベルの証明にはどのようなものがあるのでしょうか

原則として、TOEIC、TOEFL、IELTS、Cambridge 英語検定、日本英語検定協会検定(英検)を対象とします。中級は TOEIC スコアの 540 以上、上級は 730 以上とします。また、TOEIC スコアとの換算は次の表のとおりとします。

TOEIC	TOEFL iBT	TOEFL	IELTS	Cambridge	英検
730	79	213	5.5	FCE	準1級
540	56	160	4.5	PET	2級

[http://www.toeic.or.jp/library/toeic\\_data/toeic/pdf/data\\_TOEIC-STEP\\_2001.pdf](http://www.toeic.or.jp/library/toeic_data/toeic/pdf/data_TOEIC-STEP_2001.pdf)

<http://www.conversation.jp/faq/faq-english/TOEIC-TOEFL.html>

#### Q9 英語レベルの証明はいつのものが必要でしょうか

申請時まで取得したスコア、または資格が対象となります。新制度で中級、または上級の最初の申請の際に提出してください。その後、更新認定申請の度に検定を受ける必要はありません。

#### Q10 専門職団体での活動ポイントほどのくらい増加するのでしょうか

認定に必要な全体としてのポイント数は現行制度と変更はありません。しかし、中級、または上級を申請する時は、専門職団体での活動ポイントの比重が増えます。

【中級】現行より 5 ポイント増えて、10 ポイント以上が必要になります。

【上級】現行より 10 ポイント増えて 20 ポイント以上になります。また、20 ポイント以上の中に、JMLA に関する活動が 5 ポイント以上含まれることが要件として加わります。

## X. 受託事業委員会

### 1. 委員会の開催予定

委員会として会議を持たず、総務会で全体を統括する。

### 2. 事業計画と年間目標

#### 1) 診療ガイドライン作成支援-診療ガイドラインワーキンググループ

##### (1) 会議の開催予定

第1回 リーダー会 (未定)

第2回 WG 委員会議 (8月)

##### (2) 事業計画と年間目標

①診療ガイドライン年間受託 15 件を目標とする。

②研修会開催

文献検索講習会上級 (8月)

③ガイドライン受託条件の見直しを図る。

④CQ と検索式のデータベース化を検討する。

⑤CQ・KW・代表文献リスト等関係文書の集中管理を検討する。

⑥診療ガイドラインワーキンググループの業務体制を見直し、強化を図る。

- 2) 医学中央雑誌刊行会受託事業-米国国立医学図書館分類法 (NLMC) 日本語版作成ワーキンググループ (2014～2016 年度)
  - (1) 会議の開催予定  
年 2 回程度開催の予定。
  - (2) 事業計画と年間目標
    - ①分類部分の翻訳完了
    - ②索引作成の検討
    - ③出版に向け、出版委員会と検討及び版下作成を進める。
- 3) 医学中央雑誌刊行会受託事業-医療における情報のバリュー・スタディ (2015～2017 年度)
  - (1) 会議の開催予定  
年 2 回程度開催の予定。
  - (2) 事業計画と年間目標
    - ①研究計画策定
    - ②パイロットサーベイ・インタビュー実施

## XI . 協会賞・奨励賞選考

1. 委員会の開催予定
  - 第 1 回 10 月 年間計画と業務分担、規程整備の確認、広報準備
  - 第 2 回 2 月 2015 年度協会賞・奨励賞選考
2. 事業計画と年間目標
  - 1) 2015 年度協会賞・奨励賞の選考  
新規程にもとづき協会賞・奨励賞の選考を行う。
  - 2) 広報の拡充  
毎年 1 月末の応募しめきりに向け、遅くとも 11 月から広報を開始する。また、地区会事務局への協力依頼や、著作物に限らず、協会の活動に寄与した業績も候補とするために、各委員会へも応募を広く呼びかけるなど、広報をさらに拡充する。

## XII . 国際交流

1. 委員会の開催予定
  - 第 1 回 9 月 上半期の業務進捗状況確認
  - 第 2 回 1 月 下半期の業務進捗状況確認
2. 事業計画と年間目標
  - 1) 米国医学図書館協会 (以下、MLA) との連携
    - (1) MLA との二者協定に基づく連携事業の継続
      - ①MLA'15 へ JMLA 公式代表を派遣。
      - ②MLA 参加者を増やすためのキャンペーンの開催。
  - 2) 韓国医学図書館協議会 (以下、KMLA) との連携
    - (1) KMLA 連携事業における覚書の締結。

- (2) 年次総会へ会員を相互に派遣。
- 3) 国際交流委員会の業務内容について覚え書きの更新
- 4) 英文ホームページの更新
- 5) 委員会内規の見直し

## **XIII. 組織・制度委員会**

### 1. 委員会の開催予定

- 第1回 7月 2015年度総会審議結果の確認
- 第2回 9月 規程全般にわたる整合性の確認(1)
- 第3回 11月 規程全般にわたる整合性の確認(2)
- 第4回 1月 規程、細則、内規の見直し
- 第5回 3月 2016年度総会での審議に関する事項

### 2. 事業計画と年間目標

- 1) 表記基準の作成と周知
- 2) 規程、細則の改正  
表記基準に基づき、規程、細則全般にわたって見直しを行なう。
- 3) 規程全般にわたる整合性の確認  
規程は、これまで個々に審議・確認し施行してきた。そのため、関連する複数の規程の一部に関係の不明確なもの、内容の不統一が生じている。  
また、本来であれば「定款・規程・細則・内規」の順に体系だてて配列されているべきところ、必ずしもそうになっていないところがある。  
そこで、規程全般にわたる整合性の確認を行なう。

## **XIV. 部会 病院部会**

### 1. 幹事会の開催予定

- 第1回 9月 見学会打ち合わせ、次年度活動計画検討

### 2. 活動計画と年間目標

- 1) 病院見学会  
2016年2月 国立成育医療研究センター
- 2) 雑誌委員会との病院向けコンソーシアム提案の検討
- 3) 定例会  
総会時に定例会を開催する